

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	再資源化推進事業	所管	環境クリーン部 西部クリーンセンター 施設課
			TEL 2948-3141

事業の目的 (何の為に 行うか)	容器包装プラスチック(資源)を容器リサイクル法に基づく品質に適合するように適正選別を行い再資源化を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内西部管内の一般家庭から排出された容器包装プラスチック(資源)	対象とした数	3,387	t
		実際に 利用した数	3,323	t

活動の内容	(何を したか)	集積所→収集→ストックヤード→選別コンベア→選別(不適物・容器包装プラスチック) 1、不適物→搬出→埋立 2、容器包装プラスチック(資源化)→圧縮・梱包→搬出(リサイクル業者)													
活動実績	項目名	容器包装プラ+ペット ボトル+プラ残渣+分 別可燃量	3387	単位	t/年	項目名	容器包装プラスチッ ク	3307	単位	t/年	項目名	ペットボトル	15.6	単位	t/年

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	93,775	95,018	123,200	363.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	資源化率	資源物(容器包装プラスチック+ペットボト ル)÷総搬出量	98	98	100.0
			単位	単位	単位
			t/年	t/年	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	051000	TEL	2948-3141
事業コード	再資源化推進事業	環境	環境クリーン部	西部クリーンセンター	施設課	
051001		グループ	施設グループ			
開始年度		平成 15 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法、循環型社会形成推進基本法
	関連・類似事業	再資源化推進事業(東部クリーンセンター)			
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル 中柱 1 ごみ減量とリサイクルの推進 小柱 (2)リサイクルの推進
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード	
	事業開始の背景	容器包装プラスチック(資源)の再資源化を効率よく行うため、固形燃料(RDF)から、容器包装リサイクル法に基づく選別を行い、指定法人ルートへ引渡しを開始した。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)							
	容器包装プラスチック(資源)を容器リサイクル法に基づく品質に適合するように適正選別を行い再資源化を図る。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方				
	市内西部管内の一般家庭から排出された容器包装プラスチック(資源)			容器包装プラスチック搬出量				
	対象数	単位	平成 18 年度	3,493	t	平成 18 年度	3,426	t
			平成 19 年度	3,387	t	平成 19 年度	3,323	t
	事業の具体的な内容及び実施方法							
	集積所→収集→ストックヤード→選別コンベア→選別(不適用・容器包装プラスチック) 1、不適用→搬出→埋立 2、容器包装プラスチック(資源化)→圧縮・梱包→搬出(リサイクル業者)							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					
	屋外に設置してある破袋機及び破袋物搬送コンベアの上部に雨よけシートを設置し降雨時の品質の改善が出来た。選別・梱包した容器包装プラスチックの自主検査を行い、選別基準の徹底を図り品質向上が出来た。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		102,876	93,775	102,154	
	決 算 (見込み含む)		95,400	95,018		
		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.90 人	8,280	3.00 人	28,182
						※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費					
	事業費合計		103,680	123,200		
	財源内訳	一般財源		103,680	123,200	102,154
		国・県支出金				
	受益者負担金					
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		306.9	363.4		
	利用数一単位あたり(単位:円)		30,262.7	37,074.9		

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	容器包装プラ+ペットボトル+フラスコ+分別可燃量	総搬出量	t/年	3,493	3,387	
		容器包装プラスチック	搬出量	t/年	3,407	3,307	
		ペットボトル	搬出量	t/年	19	15.6	
成果分析	資源化率	資源物(容器包装プラスチック+ペットボトル)÷総搬出量	t/年	目標値	98	98	98
			%	実績	98	98	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	達成率	100.0	100.0	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体 現在の実施主体 見直しの必要性 市及び委託業者 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係 受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	平成17年度から別収集となったペットボトルの混入が前年度より5t減少し15.6tとなった、今後も減少するよう市民に分別の周知を図る。 医療系プラスチック及び乾電池の混入がある。	
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	容器包装プラスチックに混入している医療系プラスチックの取り扱い及び乾電池について市民に分別の徹底を周知する。	
	平成21年度における事業の方向性		
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	評価理由	容器包装プラスチックの有効利用を図るため今後も継続的に進めていき、予算については、容器包装プラスチック処理施設の老朽化により施設の修繕等が多くなり、経費が増加する傾向になりつつある。	
	評価日	平成20年5月8日	記入者職氏名 施設課長 山下菊雄

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	事前評価	部内優先順位… 10 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	評価理由	資源循環型社会の構築を推進するには、本事業は大変重要である。また、容器包装プラスチック等資源物の再資源化を図るのにあたり、品質向上のために職員研修を実施していることや、異物を除去するために必要な設備改修を行うなど工夫を重ねていることは評価できる。よって「引き続き実施」とした。					
	評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-2リユース・リサイクルの推進	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					